

新規参入を目指す方、興味のある方のための

令和7年度「特用林産物栽培塾」塾生募集！！

3コース

「①竹・タケノコ、②原木シイタケ、③ハゼ・木ロウ）」

1、開催目的： タケノコや原木シイタケ、ハゼ実生産は、投資が比較的小さく、現金収入を得やすい特用林産物として、中山間地域の重要な収入源として育まれてきました。

しかしながら、中山間地域の過疎化、生産者の高齢化や後継者不足により、生産者数が年々減少している状況であり、生産環境の荒廃も懸念されているところ

です。
ついては、新規生産者（新規経営参入者）を育成し、地域を維持・活性化するため、「特用林産物の栽培塾」を下記のとおり開催します。

2、主催(共催)： 福岡県、福岡県林業研究グループ連合会

3、後 援： 福岡県特用林産振興会、福岡県林業改良普及協会

4、日程及び内容

① 竹・タケノコ生産コース … 3日間 (3日×1回)：令和 7年 10月15日(水)～17日(金)

② 原木シイタケ生産コース … 2日間 (1日×2回)：1回目 … 令和 7年 11月12日(水)

//

2回目 … 令和 8年 1月29日(木)

③ ハゼ・木ロウ生産コース … 2日間 (2日×1回)：令和 7年 12月 9日(火)～10日(水)

※詳細日程と内容は別紙参照。

※天候等により一部研修内容を変更する場合も有ります。

5、開催場所： 福岡県農林業総合試験場資源活用研究センター（久留米市山本町豊田 1438-2）
及び現地等

6、応募対象及び募集期限

(1) 応募対象：特用林産物の生産や利用（加工等）を予定・目指している方

(2) 募集人数：1回当たり10名まで（複数申込み又は、種類ごとの単独申込みのどちらでも可）
（申込み多数の場合は、先着順）

(3) 募集期限：令和7年9月12日（金）まで（選考決定連絡は10/3（金）までに連絡します）

7、塾生が各自用意するもの

(1) 作業靴 … 樹木や竹の伐採等を行いますので、安全に作業できる靴。（安全靴や長靴等）

(2) 服装等 … マスク、長袖、長ズボン、帽子、タオル、軍手（滑り止め付き）、水筒、弁当等

8、申し込み方法及び問い合わせ先

(1) 申し込み方法：別紙「申込書」により下記事務局へメール
(shigenkatuyou-ringyofukyu@pref.fukuoka.lg.jp) または FAX もしくは郵送（×切必着）

(2) 問い合わせ先：福岡県農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及課（担当：加藤）
〒839-0827 久留米市山本町豊田 1438-2

☎：0942-45-7868 FAX：0942-45-7901

9、参加負担金 … 無料（但し交通費、食事代等は各自）

【別紙】

R7年度 特用林産物栽培塾 詳細日程及び内容一覧**※各回の集合・受付は9:10～9:30**

番号	日 時	内 容	場 所
①	10月15日(水) 9:30～16:30	竹・タケノコ生産の基礎 (1日目・座学) 開講式・基礎知識座学・放置竹林の整備について	センター
	10月16日(木) 9:30～16:40	メンマづくりの基礎 (2日目・座学) 竹・タケノコ生産林の管理(現地) 今、大注目のメンマづくりについて、座学で基礎を学びます。午後は、タケノコ生産の理想的な竹林で、伐竹の管理等について現地研修を行います。	センター及び 現地竹林(広川町) ※午後から現地へ乗り 合わせ移動
	10月17日(金) 9:30～16:30	竹・タケノコ生産林の管理(現地) 放置竹林整備現地実習(親竹管理のための伐採竹の選定、伐採や枝落とし、搬出、チップ化作業など)・閉講式	現地竹林(久留米市 上津町) ※現地近くに集合 (場所は1日目に連絡)
②	11月12日(水) 9:30～16:30	原木シイタケ生産 (1回目) 開講式・きのこ、原木シイタケの基礎知識座学・現地実習(ほだ起こし、クヌギの伐採や葉枯らし、萌芽の芽かきなど)	センター及び 場内クヌギ林
	1月29日(木) 9:30～16:30	原木シイタケ生産 (2回目) 現地実習(玉切り、搬出など) 植菌(種駒打)と伏せ込み実習・閉講式	センター及び 場内クヌギ林
③	12月 9日(火) 9:30～16:30	ハゼ・木ロウ生産 (1日目) 開講式・基礎知識座学(ハゼと木蠟の歴史や文化、生産工程等)・現地実習(ハゼ並木散策等、ハゼの実収穫、剪定技術など)	センター及び 現地ハゼ林(久留米市山本町)
	12月10日(水) 9:30～16:30	ハゼ・木ロウ生産 (2日目) 実践研修(ハゼ実の播種前処理や苗の植え方、栽培管理、接ぎ木技術など)・ 現地見学(木ロウ製造工程等)・閉講式	センター及び 現地製蠟工場(みやま市高田町)

注1) 上表の場所で「センター」と記述しているのは「資源活用研究センター」のこと。

注2) ①竹・タケノコ生産及び③ハゼ・木ロウ生産については、悪天候の場合1日目と2日目の内容や場所を入れ替えることがあります。(初日はセンターに必ず集合!)

注3) ②原木シイタケ生産の2回目については、積雪等悪天候の場合は延期する場合があります。延期の場合のみ前日に連絡しますので、必ず連絡がつくようにしておいてください。

注4) 主催者側で最低限のボランティア保険には加入しますが、万一事故等があった場合の保証は加入保険の適用内とし、その他責任は一切負いません。

注5) 現場での作業を伴うので、一定以上の体力が必要となります。

注6) 受講者には、研修終了後も活動状況等の調査を実施します。

FAX : 0942-45-7901

令和7年度「特用林産物栽培塾」申込書

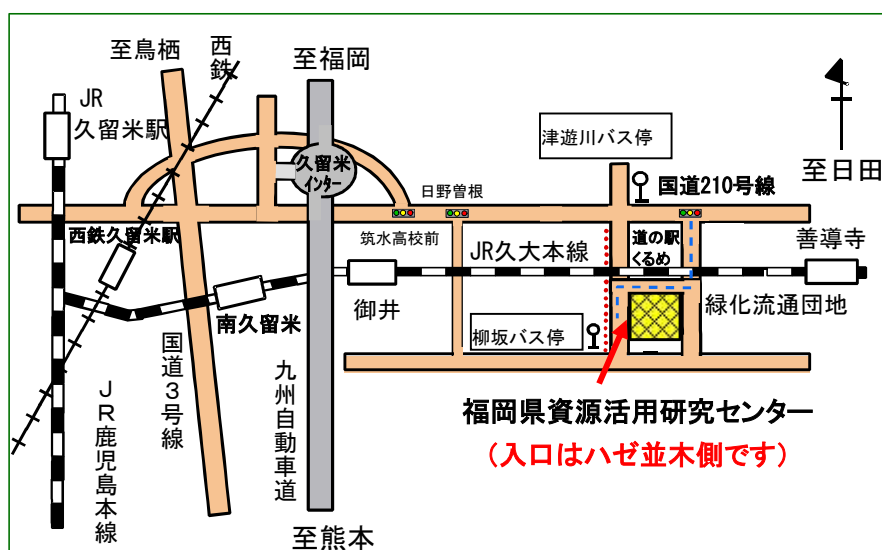
申込日：令和7年 月 日

福岡県資源活用研究センター長、福岡県林業研究グループ連合会長 殿
(事務局：県資源活用研究センター 林業普及課あて)

令和7年度「特用林産物栽培塾」の受講を下記のとおり申し込みます。

＊ 希望コースに○を付けてください。 （複数でも可。） （各コースは全日程参加を原則とします。）	（１）竹・タケノコ生産 コース ３日間：日程番号 ① （２）原木シイタケ生産 コース ２日間：日程番号 ② （３）ハゼ・木口ウ生産 コース ２日間：日程番号 ③	
＊ 職業・現状等		
＊ 住 所	郵便番号（〒 ）	
（ふりがな） ＊ 氏 名		
＊ 連 絡 先 （緊急連絡先）	自宅電話番号	— —
	自宅FAX番号	— —
	携 帯 番 号	— —
＊ 栽 培 経 験	なし ・ 有り（種類と年： を 年、 を 年）	
申込みの動機、生産意欲		

【福岡県農林業総合試験場資源活用研究センター案内図】



*印の欄は必須ですので必ず記入願います。なお、個人情報の取り扱いについては、栽培塾及びその後の栽培指導、参入状況調査等を行う場合にのみ活用し、厳正に管理します。